

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月21日

事務事業名		汚水処理施設整備計画見直し事業					事業区分		担当		
							新規/継続 単独/補助		事務事業No.		050502000118
政策体系		政策体系上の位置付け					単独		所属課		070101
総合計画の施策名		0505 下水道の整備							課長名		下水道課
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり							グループ		下水道G
施策名		05 下水道の整備							担当者名		
手段名		02 ②公共下水道の整備									
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	公共下水道事業特別会計				
	05	01	01	03	01	00	公共下水道事業				
法令根拠							単年度繰返し(平成17年度~)				
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	①霞ヶ浦流域別下水道整備総合計画 ②生活排水ベストプラン ③小貝川東部流域下水道全体計画 ④桜川市公共下水道全体計画について、H18年度から①②について県とともに見直しに着手し、平成20年度当初に②を提出した。③④についても①②の上位計画の変更後の平成23年度に変更を行った。②の生活排水ベストプランについて桜川市では、整備計画面積を約3割減する見直しを実施した。	・平成23年度桜川市公共下水道全体計画変更業務委託-内容指示監督-確認-県との協議-成果品受領 ・平成24年度桜川市公共下水道全体計画変更認可申請-認可

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
平成23年度、公共下水道全体計画変更業務委託-内容指示監督-県との協議-成果品受領 平成24年度、公共下水道全体計画変更認可申請-認可	県との協議	回	5.00	0.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市民全体	人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
人口の減少や高齢化等の社会状況の変化に合わせ、市民がより安い経費で効率的な汚水処理ができるようにする。	公共下水道投資額・暗渠整備事業費、流域負担金の計	千円	32,306.00	79,170.00	75,200.00	75,200.00	75,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	事業内訳	単 位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
	合 計		0	合 計		0

事務事業名	汚水処理施設整備計画見直し事業	事務事業No.	50502000118	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年度の県の流域別下水道整備計画、平成19年度の生活ベストプランの改定作業開始から集合処理、公共下水道・農集排事業と個別処理、合併浄化槽の費用比較だけでなく、市の財政状況に応じた案が提出できることになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 投資効果に見合わない区域については、公共下水道の区域を縮小し、合併浄化槽で整備することが良いという意見があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画に「汚水処理施設整備計画に見直し」が明記されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 汚水処理施設整備計画改定は、市民の税金や受益者負担金を扱っている市行政が行わなければならない重要な事務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 約3割の縮小をしたので、向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 計画の改訂を行わず、ハブル期に策定した計画に基づいて下水道を進めていけば、下水道整備費が市の財政を圧迫することになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市民の税金や、受益者負担金を扱っている市行政が行わなければならない事務であるため、他に方法はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 流域構成市と協議することなので、削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 主に行政内部の事務なので、評価はできない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成24年度桜川市公共下水道全体計画変更認可申請認可																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>